

## 公益財団法人日本ソフトテニス連盟

### 日本代表チーム・ナショナルチーム・全日本アンダーチーム編成基準について

#### 【日本代表チーム編成基準】

##### 1. 目的

国際大会での優勝を目指し、日本を代表するトップ選手によりチームを編成する。

##### 2. 選考基準（男女とも）

###### （1）強化スタッフ

強化委員会の推薦に基づき、理事会で決定する。

###### （2）選手

選手の選考方法および人数は別表に定めるとおりとする。

なお、選考対象大会による実績に該当する選手が重複した場合は、下位の実績による補充は行わない。

##### 3. 選考時期 : 国際大会開催年度の全日本ミックスダブルス選手権大会終了後の6月下旬とする。

ただし、アジア競技大会開催年度は全日本シングルス選手権大会終了後の5月下旬とする。

#### 【ナショナルチーム編成基準】

##### 1. 目的

国際大会での優勝を目指し、日本を代表するトップ選手によりチームを編成し強化をはかる。

##### 2. 選考基準（男女とも）

###### 強化スタッフ

（1）強化委員会の推薦に基づき、理事会で決定する。

監督1名、コーチ1名、トレーナー1名

###### 選手

（1）総合ランキングポイント上位3ペア（6名）

（2）全日本シングルス選手権大会優勝者

（3）強化委員会の推薦に基づき、理事会で決定する選手

（4）メンバー枠 原則として20名以内とする

##### 3. 期間 : 毎年12月1日から翌年11月30日までとする。

#### 【全日本アンダーチーム編成基準】

##### 1. 目的

国際レベルの競技能力の開発を目指して、競技者の発掘・育成・強化の全体を通じた共通の理念と指導カリキュラムに基づいてそれぞれの時期に最適な指導を一貫して行う

こと。また、ソフトテニス競技をより魅力のあるスポーツに育て競技を通じて青少年の育成に寄与していくことを目的とする。

## 2. チーム編成

次の6カテゴリーをもって編成する。

- (1) 全日本アンダー男子14
- (2) 全日本ダンダー女子14
- (3) 全日本アンダー男子17
- (4) 全日本ダンダー女子17
- (5) 全日本アンダー男子20
- (6) 全日本ダンダー女子20

## 3. 選考基準（男女共）

強化スタッフ

- (1) 強化委員会の推薦に基づき、理事会で決定する。  
各カテゴリー共監督1名、コーチ1名、トレーナー1名

選手

- (1) 大会成績（下記大会の個人ダブルス優勝者）  
全日本小学生選手権大会・JOCジュニアオリンピックカップ大会・全国中学校大会・全日本高等学校選手権大会
- (2) 強化委員会の推薦に基づき、理事会で決定する選手
- (3) メンバー枠 原則として各カテゴリー共20名以内とする

4. 期 間 : 毎年12月1日から翌年11月30日までとする。

- 附則
1. この基準は、平成14年12月1日から施行する。
  2. この基準は、本連盟が公益財団法人としての設立の登記の日（平成24年4月1日）から施行する。
  3. この基準は、平成27年12月 5日から施行する。
  4. この基準は、平成29年11月 3日から施行する。
  5. この基準は、令和 元年11月 3日から施行する。

## 日本代表チーム及びナショナルチーム選手選考基準

		ナショナルチーム	日本代表チーム	
1	選考人数	20名程度	5名または、6名(大会要項による)	
2	選考時期	毎年Step-4終了後の11月下旬	国際大会当該年の全日本ミックスダブルス選手権終了後の6月下旬。ただし、アジア競技大会開催年度は全日本シングルス選手権終了後の5月下旬。	
2	選考方法	(1) 大会実績、ランキング等による選考	原則として日本連盟ランキング上位3ペア7名及び全日本シングルス選手権優勝者1名の合計7名とするが、ランキング上位3ペアに全日本シングルス優勝者が含まれる場合は6名とする。	
		(1) 大会実績、ランキング等による選考	我が国で行われる国際大会予選(ダブルス)において優勝したペア2名を選考する。更に6名選考の場合は、国際大会当該年の全日本シングルス選手権で優勝した1名及び全日本ミックスダブルス選手権で優勝した1名を加え、4名を選考とするが、予選優勝者と重複した場合は2名または3名とする。	
	(2) 観点評価による選考	① 評価者	選考時の当該監督及びコーチ	選考時の当該監督及びコーチ
		② 評価の対象	国際大会予選会、全日本シングルス選手権、全日本選手権のいずれかにおいて、原則上位ベスト16以内に入賞した選手のうち、日本代表を目指す強い意志を持ち、競技力の向上に励む者。	前年12月からナショナルチームに所属する選手。
		③ 評価の項目及び配点	大会状況	大会状況
				合宿状況
大会実績			大会実績	
④ 評価の基準	「技術、体力、精神力、戦法・戦略、コート環境への適応力、試合結果、練習への取り組み」については、「非常に優れている、優れている、普通、やや劣っている、劣っている」の基準に従い評価者が評価する。	「パフォーマンス評価、戦法、戦略、合宿中の練習状況、合宿中の試合内容」については、「非常に優れている、優れている、普通、やや劣っている、劣っている」の基準に従い評価者が評価する。		
⑤ 判定	評価結果の点数を集計し、原則として総合点の上位20名程度選手をナショナルチーム選手として推薦する。	評価結果の点数を集計し、原則として総合点の上位2～4名を日本代表として推薦する。		
			(*)日本代表チームとはアジア競技大会・世界選手権・アジア選手権・アジアカップの4大会の日本代表選手によって構成されるチームを指す。	